

SS2019 事例報告 投稿資料 WACATE実行委員会常盤香央里



流れ

- •背景と問題分析
- •解決策
- •実際のワークショップのコンテンツより工夫した点
- •効果
- •まとめと今後の課題

1

2

4

背景と問題分析

ソフトウェア関連業務を取り巻く背景

- さまざまな考え方やコンテキストを持つ人達が集まってモノゴトを 作り上げている
- 対立や意見の食い違いといった問題が発生する場面がある
 - 顧客との調整・折衝
 - 同僚との議論
 - 上司との面談
 - 研修・勉強会への参加



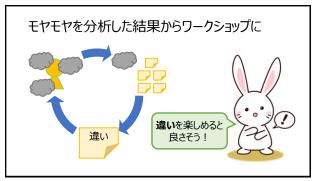


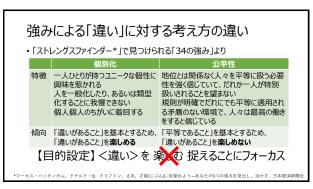
3

様々な場面を分析してみると…

- 考え方が違う
- 持っている前提が違う
- •期待値が違う
- 同じ目的でも選ぶ手段が違う
- 同じことでも表現が違う

…背景にはく違い>があるのかも?

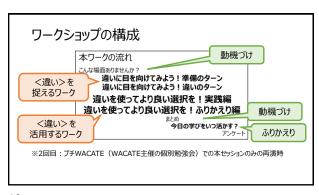






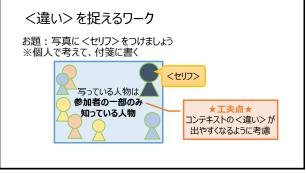
7 8



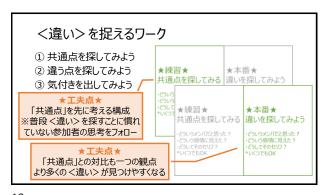


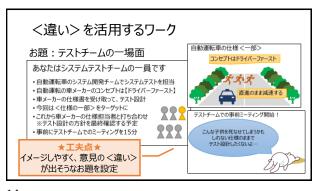
9 10





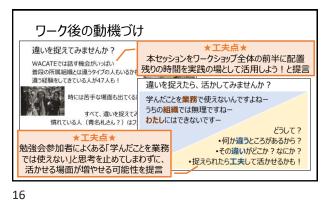
11 12



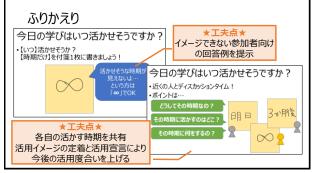


13 14



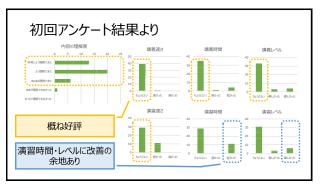


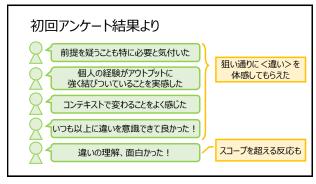
15





17 18





19 20



2回目アンケート結果より <違い> へのフォーカスが 楽しかった、いろんな価値観があると思った 強まった結果の好反応 お客様との共通点と違いを明確化させて、 違いのところを詰められそう <違い>を活かす 冷静な分析をするきっかけにできそう イメージを持ってもらえた 相手の背景やその考えに至った理由などを俯瞰することで、建設的に議論できそう 仕事だけでなく普段人と意見が合わないと きにも自分の気持ちをポジティブに持てそう 前向きな反応から 目的を上回る効果も 対人関係が苦手なので、苦手な人の違 いを捉えてポジティブに変換できればいい

21 22

まとめと今後の課題

まとめと今後の課題

- く違い>を捉えることにフォーカスすることで様々な問題の解決や発生を 予測した対処が行え、課題に向き合うことができると考えた
- ・実践する土台となる練習の場として、体感できるワークショップを構築・実 践
- ・以下のいずれの形式でも活用可能であることがわかった
 - 数日間の研修の導入部に配置する1セッション1時間半程度の個別テーマ研修ワークショップ
- ・自職場に持ち帰り、ワークを実施してくれた参加者もいた
- 適用範囲の拡大を試みたい

・様々な実施形態

・幅広い層に向けて適用(参加者層に応じて演習に用いるお題を検討)

23 24

